

## 組織目標評価報告書（令和2年度）

部局名： 附属図書館

部局長名： 今津 勝紀

| 目 標   |                    | 目標の達成状況(成果)及び新たに生じた課題への取組<br>(部局での検証とそれに対する取組)  |
|---|--------------------|---|
| <b>①教育領域</b>  |                    |   |
|   | 目標に関連する<br>年度計画の番号 | <b>教育領域の目標の達成状況及び新たに生じた課題への取組</b>   |
| 附属図書館は、自主学修向上のために文献探索・アカデミックライティングについて着実なサポートを行う。特に、遠隔授業・学修に活用できる自主学習環境および電子リソースを始めとする学術資料を継続して計画し整備する。   |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●図書館案内ツアーを代替する動画「中央図書館バーチャルツアー」を公開し、初めて図書館を利用する<b>新入生へのサポートを強化</b>した。</li> <li>●遠隔授業・学修環境での自主学修をサポートするため、オンラインデータベースを活用した文献探索講習会やレポート作成支援講座などを<b>オンラインで開催</b>するとともに<b>動画や関連資料を公開</b>し、学びの機会を充実させた。</li> <li>●図書資料（紙媒体）の充実に加え、遠隔授業支援のため、講義関連のリクエストに応じ、<b>電子書籍</b>を多く選定し1,014点を受け入れた。（前年同時期790点）</li> </ul>  |
| <b>②研究領域</b>  |                    |   |
|   | 目標に関連する<br>年度計画の番号 | <b>研究領域の目標の達成状況</b>   |
| ※研究領域に関する目標についてご記入ください。   |                    |   |
| <b>③社会貢献(診療を含む)領域</b>   |                    |   |
|   | 目標に関連する<br>年度計画の番号 | <b>社会貢献(診療を含む)領域の目標の達成状況</b>  |
| 附属図書館が所蔵する資料、特に貴重資料について継続して展示会等を開催するとともに、デジタル化を進め、国内外への発信を拡充する。<br>学生・市民が参加できる公開講座・各種セミナー・展示等を積極的に開催し、図書館を異分野・異社会との交流の場として位置づける。                          |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●<b>公開講座「邪馬台国女王・卑弥呼擁立の背景」を対面及びオンラインで実施</b>（9月28日）するとともに、<b>池田家文庫絵図展「岡山・大坂と海の道」</b>を岡山シティーミュージアム、林原美術館との共催で実施（10月31日～11月15日）し、<b>地域・社会への貢献に寄与</b>した。</li> <li>●<b>知好楽セミナーをオンラインを交えたハイブリッド形式で実施</b>した。参加者延べ102名には、学部生、大学院生、教職員の他、学外者25名も含み、<b>異分野・異社会との交流の場を創出</b>した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・第26回「知を産み、育むー沢山美果子『性からよむ江戸時代』を題材にー」（1月13日、オンライン）</li> <li>・第27回「2.4次元のアートとJAZZ～ローカルとグローバルをつなぐ『線』～」（3月9日、対面及びオンライン、岡山大学JAZZ研究会とのトーク&amp;ライブあり）</li> </ul> </li> <li>●<b>館内展示企画を学内外の関係者と連携して実施し、館内施設を異分野・異世界の交流の場として活用</b>した。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・「ベン・シャーンと国吉康雄」（3月～11月、国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座による作品と関連図書展示）</li> <li>・「洋画家・清志初男を知っていますか?」（11月～、国吉康雄記念・美術教育研究と地域創生講座による作品と関連図書展示）</li> <li>・「線で奏でるJAZZ」（2月～3月、造形作家徳持耕一郎氏による作品と関連図書展示、作者による<b>ギャラリートークをYoutubeで配信</b>）</li> </ul> </li> <li>●<b>岡山県立岡山聾学校高等部との協働学習事業</b>により、生徒2人が製作した木製ベンチ2台を中央図書館に設置した。製作過程を通じて、生徒の技能・コミュニケーション力の向上を図る<b>事業目的の達成に寄与</b>した。</li> </ul> |
| <b>④管理運営領域</b>  |                    |   |
|   | 目標に関連する<br>年度計画の番号 | <b>管理運営領域の目標の達成状況</b>   |
| 附属図書館運営委員会を開催して着実な組織運営に努めるとともに、館内におけるミーティングを定期的開催し、内部統制を推進する。また、安全衛生やセキュリティ等の講習および各種研修を職員に積極的に受講させ、図書館の知識に加えて法令遵守等に対する意識を向上させる。                           |                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>●令和元年度に開始した<b>ネーミングライツ事業</b>について2社と契約を結び、中央図書館内のスペースに愛称を付して地元企業との連携を図るとともに大学の<b>自己収入増に貢献</b>した。</li> <li>●毎週、館長・副館長・部課長でのミーティングを行うほか、部課長のミーティング（週1回）、部課長・主査のミーティング（月1回）を行って、館内の課題解決および情報共有を行っている。また、図書館全体の運営に関して、図書館運営委員会を開催し（年2回）、図書館の諸課題について学内からの意見を伺いながら運営を進めた。</li> <li>●各種職員研修会に関して今年度はオンライン受講が主流となったため積極的に参加を勧め、図書館関連の知識取得およびハラスメント等コンプライアンスに関する意識向上を図った。</li> </ul>   |
| <b>⑤センター・機構等業務</b>  |                    |   |
|   | 目標に関連する<br>年度計画の番号 | <b>管理運営領域の目標の達成状況</b>   |
| 本学の学修・研究の基盤となる電子ジャーナル・データベース・電子書籍等について学内ワーキング等を主導し、計画的な整備を行う。特に電子ジャーナル・データベースについては第4期中期計画・目標期間中の整備方針を策定し、確実な整備を行う。<br>また、学術論文のオープンアクセス化を推進し、研究成果の発信を拡充する。 |                    | ●令和3年度の電子ジャーナル等選定を着実に進むとともに、 <b>第4期中期計画期間の電子ジャーナル等整備</b> について、部局からの意見をとりまとめて案を作成し、大学経営戦略会議を経て、 <b>方針を学長裁定し、一定期間のタイトル維持と経費の安定化を実現</b> した。この方針に基づき、岡山大学に必要なジャーナル・データベースの選定計画を構築する。  |